



阪神・淡路大震災15周年記念事業

# 阪神・淡路大震災と四川大地震からの教訓

～国際社会の防災をリードする若者たち～

- 日時:2010年1月24日(日) 9:15～17:30
- 会場:神戸学院大学ポートアイランドキャンパスB号館301講義室
- 主催:「阪神・淡路大震災と四川大地震からの教訓」実行委員会  
(構成団体:神戸学院大学、兵庫県、神戸学院大学附属高等学校、兵庫県立舞子高等学校、株式会社シー・ディー・シー・インターナショナル)
- 共催:TKK3大学連携プロジェクト(東北福祉大学、工学院大学、神戸学院大学)、ポーアイ4大学連携推進センター(神戸女子大学、神戸女子短期大学、兵庫医療大学、神戸学院大学)

防災の未来は、うちらがつくる。

# 来自阪神・淡路特大震灾与四川特大震灾的教训

～带领国际社会防灾活动的青年人～

- 日期:2010年1月24日(日) 9:15～17:30
- 地点:神戸学院大学港岛校区B号館301講義室
- 主办:“来自阪神・淡路特大震灾与四川特大震灾的教训”执行委员会  
(构成单位:神戸学院大学、兵庫県、神戸学院大学附属高中、兵庫県立舞子高中、CDC国际股份有限公司)
- 共同主办:TKK三所大学合作项目(东北福利大学、工学院大学、神戸学院大学)、港岛四所大学推动合作中心(神戸学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、兵庫医疗大学)

# 実行委員長のあいさつ

1995年の阪神・淡路大震災以降、わたしたちが得た経験や教訓は国内外に発信され、さまざまな災害の現場や防災に役立てられてきました。近年では、2008年5月の中国四川省大地震の際、兵庫県もさまざまな面で支援したことをきっかけに、兵庫と四川のあいだにも震災の経験を通じた新たな「つながり」ができつつあります。

それら経験・教訓の発信や語り継ぎの担い手の多くは、これまで「大人たち」でした。しかし、次世代に教訓を伝える必要性を鑑みると、語り継ぎの担い手、つなぎ手として「若者たち」が果たすべき役割は大きいと考えます。

そこで、日中両国の若者たちがともに得た「震災経験」をつなぐ方法を考えること、さらに次なる災害への備えとして、若者たちが果たすべき役割について、国境や地域、世代を超え、ともに考えたいと思います。

「阪神・淡路大震災と四川大地震からの教訓」実行委員会

実行委員長 岡田 芳男(神戸学院大学学長)

## プログラム

時間	プログラム	会場				
9:15~9:25	開会式 岡田芳男 実行委員長	B号館 3階 301講義室				
9:25~9:35	来賓あいさつ 河田恵昭様 (阪神淡路大震災記念人と防災未来センター センター長)					
9:35~11:45	パネルディスカッション ~わたし自身の取り組み~ 【パネリスト】王宗謨氏(中国・西南大学心理学院准教授)、齋藤富雄氏(財団法人兵庫県国際交流協会理事長、前兵庫県副知事)、住田功一氏(NHK大阪放送局 チーフアナウンサー)、水谷孝次氏(株式会社水谷事務所 代表) 【コーディネーター】船木伸江氏(神戸学院大学 専任講師)					
11:45~12:00	分科会説明会					
12:00~12:45	昼食	B号館 1階 学食、レストラン				
12:45~15:45	<table border="0"><tr><td style="text-align: center;">学生向けメニュー</td><td style="text-align: center;">一般参加者向けメニュー</td></tr><tr><td style="text-align: center;">○分科会(事前登録制) 「世界の笑顔のために 私たちができること」</td><td style="text-align: center;">○映画「風を感じて」上映 ○王宗謨氏と杨乐氏による四川 での心理支援活動報告</td></tr></table>	学生向けメニュー	一般参加者向けメニュー	○分科会(事前登録制) 「世界の笑顔のために 私たちができること」	○映画「風を感じて」上映 ○王宗謨氏と杨乐氏による四川 での心理支援活動報告	【分科会】 B号館 3階 304、305、306 【上映会、報告会】 301講義室
学生向けメニュー	一般参加者向けメニュー					
○分科会(事前登録制) 「世界の笑顔のために 私たちができること」	○映画「風を感じて」上映 ○王宗謨氏と杨乐氏による四川 での心理支援活動報告					
16:00~17:20	全体会議、共同声明	B号館 3階				
17:20~17:30	閉会式	301講義室				

## 致词

1995年阪神·淡路特大震灾发生以后，我们把获得的经验教训向国内外发信，有益于各种受灾现场和防灾方面。近年来，2008年5月在中国四川发生特大地震的时候兵库县进行过各种支援，以此作为开端，通过受灾经验兵库与四川之间正在建成新的“相连关系”。

以往，经验教训的发信人、传说人大都是“大人们”。但是，鉴于把经验教训相传到下一代的重要性，我认为作为相继传说下去的接班人或旗手，“青年们”发挥的作用是很大的。

于是，我想超过边境、地区和世代的不同，关于如何传递“受灾经验”和为了防备下一场灾害，青年们该发挥如何作用，让我们日中两国青年们共同想一想吧。

“来自阪神·淡路特大震灾与四川特大震灾的教训”执行委员会  
委员长 冈田 芳男（神戸学院大学校长）

## 计划

时 间	计 划	会 场		
9:15~9:25	开幕式 冈田执行委员会委员长	B301讲学室		
9:25~9:35	来宾致词 河田惠昭先生 (阪神淡路特大震灾纪念人与防灾未来中心所长)			
9:35~11:45	图示板公开讨论会 ~我本人的对应~ 【讨论人】王宗谟先生(中国西南大学心理学院副教授)、斋藤富雄先生(财团法人兵库县国际交流协会董事长、前任兵库县副知事)、住田功一先生(NHK日本广播协会大阪广播局主席广播员)、水谷孝次先生(股份有限公司水谷事务所总经理) 【协调员】船木伸江先生(神戸学院大学 专任讲师)			
11:45~12:00	分科会说明会	B号馆1层 学生食堂、餐厅		
12:00~12:45	午 餐			
12:45~15:45	<table border="0"><tr><td style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 50%;"><p style="text-align: center;">面向学生的节目</p><p>○分科会(预先登记制) “为了全球的笑脸我们能做到什么事”</p></td><td style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 50%;"><p style="text-align: center;">面向一般参加人的节目</p><p>○放映电影 “感觉刮风” ○由王先生·杨先生 做 “四川心理援助活动报告”</p></td></tr></table>	<p style="text-align: center;">面向学生的节目</p> <p>○分科会(预先登记制) “为了全球的笑脸我们能做到什么事”</p>	<p style="text-align: center;">面向一般参加人的节目</p> <p>○放映电影 “感觉刮风” ○由王先生·杨先生 做 “四川心理援助活动报告”</p>	【分科会】 B304、305、306 【放映电影、 活动报告】 B301 讲学室
<p style="text-align: center;">面向学生的节目</p> <p>○分科会(预先登记制) “为了全球的笑脸我们能做到什么事”</p>	<p style="text-align: center;">面向一般参加人的节目</p> <p>○放映电影 “感觉刮风” ○由王先生·杨先生 做 “四川心理援助活动报告”</p>			
16:00~17:20	整体会议、共同声明	B301讲学室		
17:20~17:30	闭幕式			

# パネルディスカッション (9:35～11:45／B301講義室)

## ～パネルディスカッションの目的～

兵庫のまちが経験した阪神・淡路大震災から15年。壊れたビルや高速道路は新しくなり、兵庫のまちは15年間で大きく生まれ変わりました。阪神・淡路大震災後に生まれた子どもたちが今年高校に入学します。子どもたちにとっては、阪神・淡路大震災は「過去」の出来事です。しかし、世界では大きな地震でたくさんの被害が出ています。

2年前の5月、四川のまちを大きな地震が襲いました。四川大地震発生から1年8カ月経つ現在、学校には新しい校舎が建ち、まちには新しい家が建ってきています。四川のまちもまた、10年後には子どもたちには四川大地震が「過去」の出来事になっていくことでしょう。

しかし、阪神・淡路大震災の経験が日本でその後起こった災害で生かされたことはたくさんありました。また、阪神・淡路大震災の経験が四川大地震で生かされたこともありました。

こう考えると、震災の経験を次の世代につなぐことはとても大切なのではないかと考えています。

震災の経験を次世代に「つなぐ」ことの重要性、「防災に若者が果たす役割」について学生が実践者の活動から学ぶことをパネルディスカッションの目的としています。

## ～パネリスト紹介～



王宗謨 (西南大学心理学院准教授、同大学 四川綿竹心理援助ステーション副所長)

1968年生まれ。淄博市青少年成長指導センター専任スーパーバイザー。中国心理衛生協会会員。国家心理カウンセラー。山東師範大学、中国科学院心理学研究所通信教育大学院を卒業後、心理カウンセラーとして勤務。



齋藤富雄 (財団法人兵庫県国際交流協会理事長、前兵庫県副知事)

1945年兵庫県生まれ。知事公室次長兼秘書課長、西播磨県民局長等を歴任の後、1996年4月兵庫県の危機管理全般を統括する初代「防災監」に就任。阪神・淡路大震災の教訓を生かした防災対策の充実強化に努めるとともに、ロシアタンカー重油流出事故、O-157対策をはじめ多くの緊急事案を指揮。2001年4月に出納長、同年9月より副知事、2009年9月退任。



撮影＝藤原靖史

住田功一 (NHK大阪放送局チーフアナウンサー)

1960年神戸市生まれ。83年NHK入局。著書に『語り継ぎたい。命の尊さー阪神大震災ノート』がある。本書は、震災現場に居合わせた筆者が、震災報道のアナウンサーとして、また一市民として、目撃したこと、感じたことを率直に綴り、人の命の尊さを訴えているものである。続編として、中高生・大学生とともに、防災ワークブックとして『僕たちの阪神大震災ノート』の制作・刊行を計画している。その一環として「写真調べ学習プロジェクト」を進めている。



水谷孝次 (株式会社水谷事務所 代表)

1951年名古屋市生まれ。83年水谷事務所設立。東京ADC賞、JAGDA新人賞、N.Y.ADC国際展・金賞、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ金賞・特別賞などを受賞。「笑顔は世界共通のコミュニケーション」を合言葉に、99年よりMERRY PROJECTを開始。「あなたにとってMERRY(楽しいこと、幸せなとき、将来の夢など)とは何ですか?」という質問に対する笑顔とメッセージを集めている。これまで愛知万博や北京五輪などに参加。災害から復興する被災地(神戸・四川・スマトラ)で生きる子どもたちの笑顔取材し「防災を通じたMERRYな交流」を実施している。

# 图示板公开讨论会 (9:35~11:45 / B301讲学室)

## ~目的~

离兵库城镇体验的阪神・淡路特大震灾发生以后已经过了十五年。在这十五年的岁月里，崩塌的大楼和高速公路已被重建，兵库城貌焕然一新。震灾当年诞生的孩子们今年升高中。对孩子们来说阪神・淡路特大震灾是“过去”的事件。可是，全球仍旧发生大地震，造成巨大的损失。

两年以前的5月份，特大地震袭击了四川。四川特大地震。经过一年八个月，现在看得见重新建成的新校舍新房子。在四川城镇，十年以后，对孩子们来说四川特大地震也可能同样地成为“过去”的事件。

可是，阪神・淡路特大震灾的经验或多或少地有益于其后日本发生的灾害。同时，阪神・淡路特大震灾的经验有效地利用于四川大地震的善后工作。

这么一想，我们认为把震灾经验世代相传的活动是相当重要的事情。本届图示板公开讨论会的目的在于学生们通过实践人的活动学习把震灾经验“传递”到下一代的重要性和“青年人在防灾中该发挥的作用”。

## ~讨论人~

王宗谟 (西南大学心理学院副教授, 西南大学心理学院绵竹心理援助站副站长)  
1968年生。淄博市未成年人成长指导中心专业督导。中国心理卫生协会会员。国家心理咨询师。山东师范大学・中国科学院心理学研究所函授大学院毕业后, 当心理咨询师从事工作。



斋藤富雄 (财团法人兵库县国际交流协会董事长、前任兵库县副县长)  
1945年生于兵库县。历任县长办公室副主任兼秘书处处长、西播磨县民局长等职务以后, 1996年4月就职第一任总括兵库县所有危机管理的“防灾监”。在借鉴阪神・淡路特大震灾的教训加强防灾抗灾力度的同时, 指挥了处理俄罗斯籍油轮柴油流出事故和应对0-157大肠杆菌等许多紧急案件。2001年4月就任兵库县财务厅长, 自同年9月至2009年9月任副县长。



住田功一 (NHK日本广播协会大阪广播局主席广播员)

1960年生于神戸市。1983年入局NHK。有一本著作《我想传说下去。宝贵的生命-阪神特大震灾笔记》。这本书是偶尔在震灾现场的笔者作为报道震灾消息的广播员, 也作为一名市民, 把亲眼目睹的事情和感受坦率地写作, 诉说人之生命的宝贵。他还计划与初中高中大学生们一起制作发行续编防灾工作小册《我们的阪神特大震灾笔记》”。作为其中的一部分计划, 正在进行“查找照片学习项目”。



藤原靖史拍摄

水谷孝次 (股份有限公司 水谷事务所总经理)

1951年生于名古屋市。1983年建立水谷事务所。曾经获得过东京ADC奖、JAGDA新秀奖、N.Y. ADC国际展金奖、华沙国际海报双年展金奖・特别奖等。以“笑脸是世界共有的沟通表现”作为口号, 自从1999年开始开展MERRY PROJECT活动, 收集笑脸照片和对提问“对你来讲MERRY (高兴的事, 幸福的时刻和将来的梦)是什么?”的回答信息。以往, 参加过爱知世博会和北京奥运会。在从灾害中重建的灾区(神戸・四川・苏门答腊)采访孩子们的笑脸, 进行着“通过防灾的MERRY交流”。



## 分科会 (12:45～15:45 / B304～306)、全体会議 (16:00～ / B301)

分科会は、実践者によるパネルディスカッションを受けて、「世界の笑顔のために私たちができること」について学生が考えていく時間です。分科会はどんな内容になるのでしょうか。どうやら若者たちには、考えがあるようです。3つの分科会に分かれてそれぞれ話をした後、全体会議で報告をしてくれますので、お楽しみに!

## 映画上映、四川での心理支援活動報告 (12:45～15:45 / B301)

### ○映画上映会:

日本と中国の友好を願い、制作された四川大地震の記録映画「風を感じて」を上映します。

### ○被災地四川での心理支援活動報告:

四川大地震被災地の学校において心理支援活動を精力的に実施されている王宗謨氏、楊乐氏をお迎えして、被災地四川での取り組み等について伺います。

## ～活動報告者～



楊乐 (西南大学心理学院綿竹心理援助ステーション副所長)

1984年生まれ。西南大学心理学院で基礎心理学を専攻。卒業後、四川大学心理健康と応用心理学研究所カウンセラーとして勤務。現在は、西南大学心理学院綿竹心理援助ステーションの兼任で、中国科学院心理学研究所綿竹心理サービスセンターの心理カウンセラーとしても活躍中。

映画「風を感じて」 制作総合指揮 企画・プロデューサー 黄淑柔氏からのメッセージ  
～「阪神・淡路大震災と四川大地震からの教訓」にご出席の皆さまへ～

この映画は若い世代の方に是非見て頂きたいと思っておりました。それは、今回の映画のテーマでもありますが、私達人間の持つ力、思いやりや絆、情熱は例えどのような自然災害より、深く大きいものだと確信し、それを若い世代の方々に、国を越えて実現して欲しいと思っているからです。心が通じ合うと、そこから発生するものは無限大で、美しいものであるということこそ是非感じて欲しいと思っております。そして、特に両国の震災後の最も大切なことは被災者の心のケアであると痛感しております。若い皆様のエネルギーと暖かな気持ちに多いに期待し、世界の若者の国を越えた心の交流が、今後益々発展することを願っております。



## 分科会、(12:45~15:45 / B304~306)、整体会议(16:00~ / B301)

学生们听取实践人之间进行的图示板公开讨论会的内容,就“为了全球的笑脸 我们能做到什么事”进行思考的时间。分科会的内容到底怎样落实,青年们好像有自己的想法。

分三个分科会进行讨论后将在整体会议上做报告,请各位期望!

## 放映电影、四川灾区心理援助活动报告(12:45~15:45 / B301)

### ○电影放映会:

放映四川特大地震纪录片“感觉刮风”,这部电影是为了增进中日友好制作的。

### ○四川灾区心理援助活动报告:

聘请在四川特大地震灾区学校积极从事心理支援活动的王宗谟先生和杨乐女士,请教在四川灾区的等。

## ~活动情况~



### 杨 乐 (西南大学心理学院绵竹心理援助站副站长)

1984年生。在西南大学心理学院专攻基础心理学。毕业后在四川大学心理健康与应用心理研究所任心理咨询师。目前,兼任西南大学心理学院绵竹心理援助站副站长和中国科学院心理学研究所绵竹心理服务中心的心理咨询师大显身手。

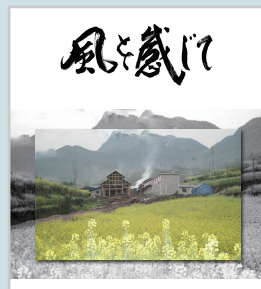
电影“感觉刮风”的制片总指挥、规划·制片人 黄淑柔先生 致词  
~出席“来自阪神·淡路特大震灾与四川特大震灾的教训”集会的各位先生~

我一直想年轻一代人看看这部电影。

这因为我坚信我们人类具有的力量、体贴、纽带和热情是比任何自然灾害又深又大的,这就是此片的主题,我希望年轻一代人能超过国家的不同实现它。

我强烈希望观众能感觉到,只要人心互通,从此发生的事情是无限大的、美丽的。而且,我痛感震灾以后尤其重要的是受灾人员的心理调养。

我大大地期待年轻人大家的精力和温暖的心情,也盼望今后不管国家的不同世界年轻人心与心的交流越来越发展下去。



## 会場案内 (B号館 3階)

### ○メイン会場 (B301講義室)

パネルディスカッション、映画上映、四川での心理支援活動報告、全体会議、共同声明

### ○主会場 (B301講義室)

図示版公開討論会、放映映画、四川心理援助活動報告、全体会議、共同声明

### ○学生による写真展

- ①神戸学院大学生による「中国・四川省の現地写真展」
- ②神戸学院大学附属高等学校生徒による写真展「被災直後と現在の町並み」

### ○由学生们举办照片展览

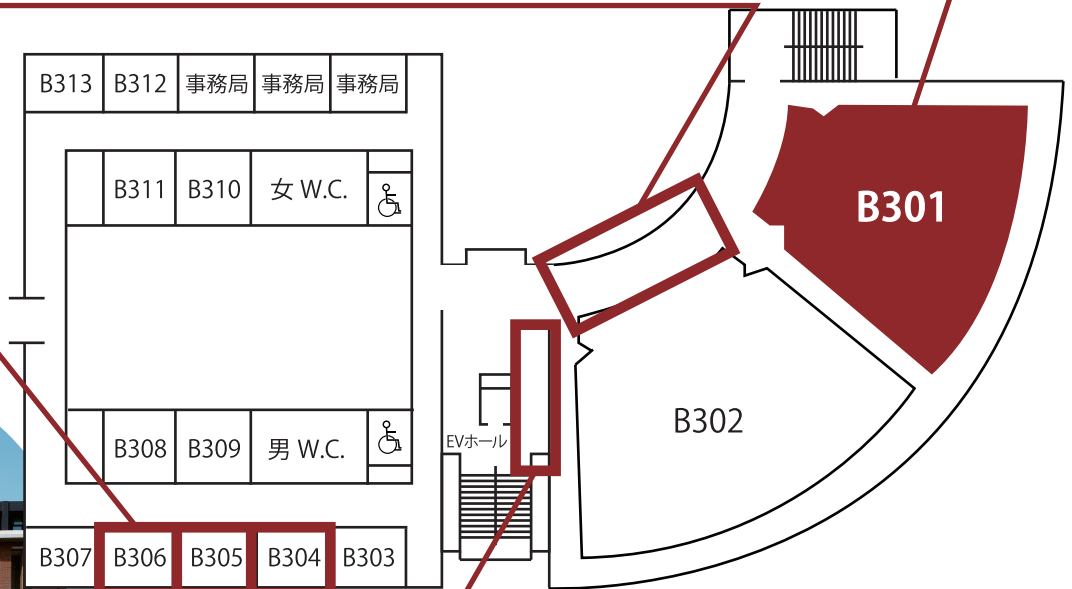
1. 由神戸学院大学学生举办的“中国・四川省现场照片展览”
2. 由神戸学院大学附属高中生举办的“刚遭灾之后与目前的街道面貌”照片展览

### ○分科会会場

(B号館304、305、306)

### ○分科会会場

(B304、305、306)



### ○パネリスト水谷孝次氏による笑顔の写真展

○由讨论人水谷孝次先生拍摄的笑脸照片展览

## 協賛、後援企業・団体一覧

- 協賛：財団法人敬愛まちづくり財団、丸石製薬株式会社 中央研究所、浜理薬品工業株式会社、シスメックス株式会社、佐藤薬品工業株式会社
- 後援：アジア防災センター、国際交流基金、国際復興支援プラットフォーム、国際連合地域開発センター防災計画兵庫事務所、財団法人兵庫県国際交流協会、日本赤十字社兵庫県支部、阪神淡路大震災記念人と防災未来センター、兵庫県災害医療センター、JICA 兵庫、MERRY PROJECT、朝日新聞社、共同通信社、神戸新聞社、産経新聞神戸総局、時事通信社、日本経済新聞社神戸支社、毎日新聞社、読売新聞大阪本社、サンテレビジョン、NHK 神戸放送局、株式会社エフエムわいわい、株式会社ラジオ関西、財団法人 PHD 協会、CODE 海外災害援助市民センター、NGO 活動教育研究センター

この事業は、「ひょうご安全の日推進県民会議」の助成を受けて実施しています。